

令和 7 年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：こども家庭支援センターこども家庭支援課

1 施設概要

施設名称	横須賀市療育相談センター
指定管理者名	社会福祉法人青い鳥
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 16 年 3 月 31 日（10 年間）

2 月次評価

評価月	評価
4 月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療部門においては、初診 90 名、再診 1,110 名と、継続的な診療体制が確保されていた。診療所においては電子カルテシステムが導入されており、今後の事務効率化やサービス向上が期待される。 ・通園施設では、4 月 8 日に入園式が実施され、29 名の新入園児が加わった。「年度初めの会」においては施設の基本方針や年間行事について説明があり、さらにアーカイブ配信を期間限定で行うことで、参加できなかった保護者にも配慮がなされていた。 ・地域生活支援部門の療育教室については、参加児童数の増加に対応して 2 クラスが新設された。各回の参加率も高く、盛況なスタートとなっている。今後も利用児童や保護者のニーズに応える継続的な運営が期待される。
5 月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療部門においては、初診 81 名、再診 1,285 名と、継続的な診療体制が確保されていた。 ・通園部門、地域生活支援部門では、通園併行利用児及び診療所利用児を対象に、今年度最初の巡回訪問を開始。5 月は延 23 施設を訪問した。在籍児の約 8 割が併行通園のため、訪問先も対象児も多い中、センター内での支援にとどまることなく、外への支援にも力を入れていることが窺える。 ・地域生活支援部門では、市内の健康福祉センターそれぞれと情報交換の機会を設け、地域での連携を図っていた。 ・教育委員会と合同で就学説明会を開催し、通園年長児童・外来利用児童の保護者向けに、就学に向けての情報提供を行った。保護者の関心も高く、計 195 名の参加があった。今後も保護者の様々な不安に寄り添い、ライフ

	ステージに合わせた情報を細やかに提供しながら、不安解消に繋がるような支援を継続してもらいたい。
6 月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療部門においては、初診 92 名、再診 1,297 名と、継続的な診療体制が確保されていた。 ・通園部門では、武山支援学校と市立養護学校の見学会やピアカウンセリングを開催。今後の就学に向けた保護者支援を実施していた。 ・開所から 17 年が経過し、建物や設備にも老朽化が見られるが、指定管理者において日々の安全点検をしっかりと行っており、不具合が確認できた場合は、市への報告も速やかに行われている。施設管理、事故の未然防止に対する意識を職員一人一人が高く持っている点を評価する。
7 月	・診療部門、地域生活支援部門、通園部門のいずれにおいても、円滑かつ安定した運営が行われていた。 ・診療部門においては、初診 96 名、再診 1,368 名と、継続的な診療体制が確保されていた。 ・地域生活支援部門では、6 月・7 月に新規の相談が多く、予約のあった 68 名の初回面談を行った。所属している園等からの勧めで相談に来られる方が多かった。 ・全部門において、外部からの専門職研修や見学の受け入れを行っていた。 ・津波警報発令の際は、ちょうど通園施設の登園時刻と重なっていたが、指定管理者の迅速な判断のもと、児童はバス到着後すぐに高層階へ避難し、夕方まで無事に過ごすことができていた。また、診療所でも大きな混乱はなかった。利用者の避難に特に配慮が必要な施設であるため、日頃から様々な状況をシミュレーションした訓練を実施しているが、実際の避難の際も、利用者の安全を最優先した適切な対応が取られていた。
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	
12 月	

1 月	
2 月	
3 月	